

「いよいよグローバルな時代に」

2学期スタート

遅い梅雨明けとともにいきなり猛暑の中はじまった今年の夏休み。新型コロナウイルス拡大防止に係る4月、5月の長期休業があったため、今年度は17日間と短い夏休みになりましたが、家族でゆっくりしていただけたでしょうか。

ウィルスは暑さに弱いという定説をくつがえし、世界であるいは日本列島ではコロナ感染の報道ばかりが目につき、PCR検査数の増加とともに感染者数は今も増え続けています。一方でワクチンの開発が予想以上のスピードで進んでいるのは明るいニュースでした。

昨年度の11月号に「グローバルな視点を」という見出しで記事を書きましたが、今回のコロナ禍により、いよいよ現実味を帯びてきたな、加速するなと感じます。グローバル社会とは、国を超えた世界規模であるさまの状態ですが、インターネットや格安旅行も後押しし、世界経済は大きく膨らみました。一方、「グローバル」とは、グローバル（世界）とローカル（地域）を掛け合わせた造語で、グローバル人材とは、地球規模で考えるが、あくまで地域で貢献する（行動する）人材のことです。マクドナルドの「てりやきマックバーガー」はまさに日本店舗にしかないグローバル視点の代表的商品です。つつい買ってしまいますよね。このコロナ禍は一過性のものではなく、ICT化や分散型等、社会の構造そのものを変えていくと感じます。

学校は、常に社会がどんな人材を求めているかを軸に教育活動を行います。まずは足元の地域の特性を理解し、ふるさとに愛着の持てる子どもを育成していきます。



苦渋の判断ですが、6年生の修学旅行は日帰りに

宣伝ではありません・・・

学校便りの6月号では「実施はきびしい」、7月号では「一泊二日で実施」と表記の揺れ動いた修学旅行ですが、ついに東近江市が「市内の公立小中学校の修学旅行は日帰りで実施」と方針を示しました。学校の教育活動は、基本「校長が決裁」ですが、「市教委の適切な指導の下に」となっており、今回は、市教委が現状の感染状況に配慮し、苦渋の決断をしました。判断理由は以下の通りです。

- 1 全国的な感染状況が拡大傾向にあり、修学旅行実施時期に収束することが見通せないこと
- 2 市内の学校関係者（保護者含む）においても濃厚接触者と見なされる事例が数多く発生しており、修学旅行中や前にも急遽中止せざるを得ないことが予想されること。
- 3 学校関係者の感染により修学旅行を中止した場合、当該関係者自身が罪悪感を抱いたり、誹謗中傷による人権侵害を受けることが心配されること。
- 4 基礎疾患を持つ児童や家族（特に高齢者）に対する心配の声が高まっていること。
- 5 実施時期や訪問先が限定される中で、学校判断によるより安全なコース設定が困難であること。

この決定を受け、本校では、第3案として考えていた日帰りの奈良方面への歴史学習を中心とした修学旅行を軸に計画し、防災やキャリア教育の体験的活動については、地域のゲストティーチャーや視聴覚教材による学習を行う予定です。6年生にとっては一生に一度の修学旅行がこういう形になり本当に申し訳ない気持ちでいっぱいですが、学校としては、これをまさにグローバルな学習活動のチャンスと捉え、校内での学習活動を充実させる所存です。

2学期の主な行事（状況により変更あり）

8月22日(土) PTA環境奉仕作業(23日予備日)
 9月 9日(水) 5年生フローティングスクール
 9月15日(火) 4年生PTA親子活動
 9月17日(木) 1年生校外学習
 9月18日(金) 3年生校外学習
 9月25日(金) 4年生やまのこ(高取山)
 10月2日(金) 2年生PTA親子活動
 10月5日(月)～10月9日(金)
 学校公開週間(参観日は指定しません)
 10月8日(木) 1年生PTA親子活動
 10月15日(木) 6年生修学旅行

10月20日(火) 巡回講演
 10月22日(木) 2年生校外学習
 10月23日(金) 5年生PTA親子活動
 6年生校外学習
 11月 5日(木) 3年生PTA親子活動
 11月 7日(土) PTA資源回収(8日予備日)
 11月13日(金) 校内マラソン大会(17日予備日)
 12月21日(月)～12月24日(木)
 2学期末個別懇談会
 12月25日(金) 終業式
 * 冬季休業は、12月26日～1月3日まで

